

# 令和6年度決算見込み概要

詳しく見よう!



令和  
6  
年度  
決算

- 収支は黒字でした
- 借金は増えました
- 貯金は増えました

令和6年度の財政状況(決算)をお知らせします。  
なお、数字は全て端数処理して表記しています。

※決算の詳細は、市HP(下記2次元コード)や財政課窓口でご覧いただけます。

問い合わせ = 市役所本庁舎3階 財政課(559-5018 FAX 563-1366)

※記載の決算見込みの内容は、9月の定例市議会に提出し、予算決算常任委員会で審議されます。



## 一般会計・特別会計

一般会計と特別会計<sup>\*1</sup>をあわせて **9.5億円の黒字** でした

一般会計の当初予算では財政調整基金<sup>\*2</sup>を9.1億円取り崩す予定でしたが、予算よりも市税や国からの普通交付税が増えたため、取り崩さずに黒字を確保しました。

会計名	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(C=A-B)	翌年度に繰り越すべき財源(D)	実質収支額(C-D)
一般会計	469億8,394万円	458億6,762万円	11億1,632万円	3億3,534万円	7億8,098万円
特別会計	223億5,247万円	221億8,664万円	1億6,583万円	0円	1億6,583万円
合計	693億3,641万円	680億5,426万円	12億8,215万円	3億3,534万円	9億4,681万円

\*1…特別会計とは、対象事業が限定されている次の5つの会計のこと ①国民健康保険 ②公営墓地整備 ③駐車場 ④介護保険 ⑤後期高齢者医療

\*2…財政調整基金とは、財源が足りなくなった時に備えて積み立てている貯金のこと

## 企業会計 (市が経営する公営企業3事業の会計)

### ① 水道事業

	収益的収支(税抜)	資本的収支(税込)
収入	28億99万円	1億6,955万円
支出	23億8,036万円	13億8,096万円
差引	4億2,063万円	△12億1,141万円

収益的収支は、給水人口が減少傾向にありますが、約4億2,063万円の純利益を計上しました。

資本的収支では、安全な水道水を安定的に供給するため、水道管路の布設替え工事の他、配水池防水塗装工事や制御盤などの機器の更新などを実施しました。

### ② 下水道事業

	収益的収支(税抜)	資本的収支(税込)
収入	30億1,190万円	7億7,239万円
支出	27億668万円	15億5,739万円
差引	3億522万円	△7億8,500万円

収益的収支は、補助金などの収入増加により約3億522万円の純利益を計上しました。

資本的収支では、適正な機能維持を図るため、マンホール改築工事や中継ポンプ設備の更新、災害時の対策としてマンホールトイレの整備などを実施しました。

### ③ 市民病院事業

	収益的収支 (税抜)	資本的収支 (税込)
収入	89 億 3,695 万円	9 億 8,721 万円
支出	96 億 9,777 万円	14 億 1,029 万円
差引	△ 7 億 6,082 万円	△ 4 億 2,308 万円

収益的収支は、新型コロナウイルスに関する補助金の皆減に加え、人件費や材料費等の高騰などによる費用の増加により、約 7 億 6,082 万円の純損失となりました。資本的収支では、診療機能の向上を図るため血管造影装置の更新を実施し、地域に安心をもたらす良質で高度な医療サービスの提供に努めました。

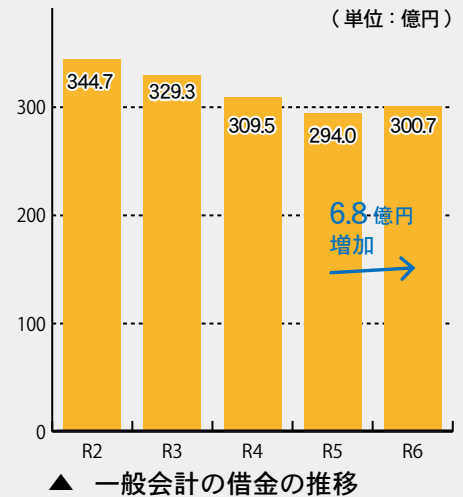
## Q. 借金 (債務残高) はいくら増えたの?

### A. 借金は **6.8 億円** 増えました

市民センターや小学校、幼稚園の大規模改修、三田駅前 C ブロック地区市街地再開発などの投資のためお金を借りました。

#### 【なぜ借金をする必要があるの?】

- 毎年の支出額が偏らないように均一化を図るため  
建設事業費など大きなお金は、その年度の予算で支払うことが難しいため、借金することで、長期間で返済し支出額を均一にします。
- 現在の市民と将来の市民の負担を公平にするため  
今後も使う施設などの費用を、現在の市民だけで負担するのではなく、将来施設などを使うであろう市民にも負担してもらうため、分割で返済しています。



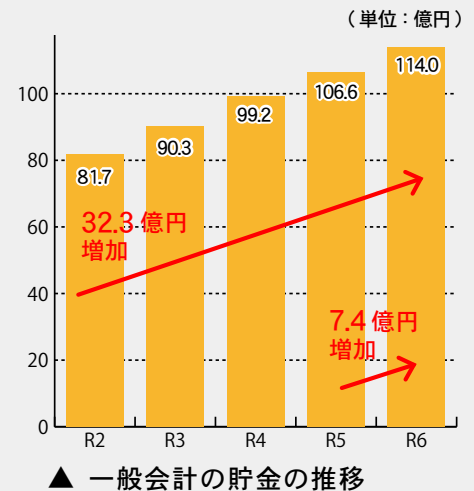
## Q. 貯金 (基金残高) はいくら増えたの?

### A. 貯金は **7.4 億円** 増えました

公共施設の整備や子どもの教育支援など特定の事業目的のために 5.2 億円を基金から取り崩しましたが、引き続き収入に見合った支出に取り組んだことで、前年度の剰余金を 2.4 億円 (財政調整基金)、今後の公共施設の整備のために 3.2 億円など、合計で 12.5 億円を基金に積み立てました。

#### 【なぜ黒字なのに貯金を取り崩すの?】

将来の大きな支出に備えて目的ごとに積み立てた貯金(基金)は、目的に合う事業があれば、必要に応じて使うことで、市税収入の減少などに左右されず、柔軟に事業を実施できます。



## ■ 三田市未来への財政ロードマップ (案)

令和 6 年度決算見込みは 7.8 億円の黒字 (一般会計) となりましたが、高齢化に伴う社会保障費の増加や複数の大規模投資事業に伴う公債費の増加により、令和 9 年度以降は赤字が続き、令和 16 年度までの 10 年間で 93 億円の収支不足が見込まれます。一方、財源不足に備えて積み立てている基金は、令和 16 年度に 61 億円となる見通しであり、基金だけでは収支不足を補うことができません。こうした状況に対応するため、令和 7 年 8 月に「三田市未来への財政ロードマップ (案)」および「第 1 次実行計画 (案)」を策定しました。現在、パブリックコメントを実施しており、10 月に意見交換会を開催します。

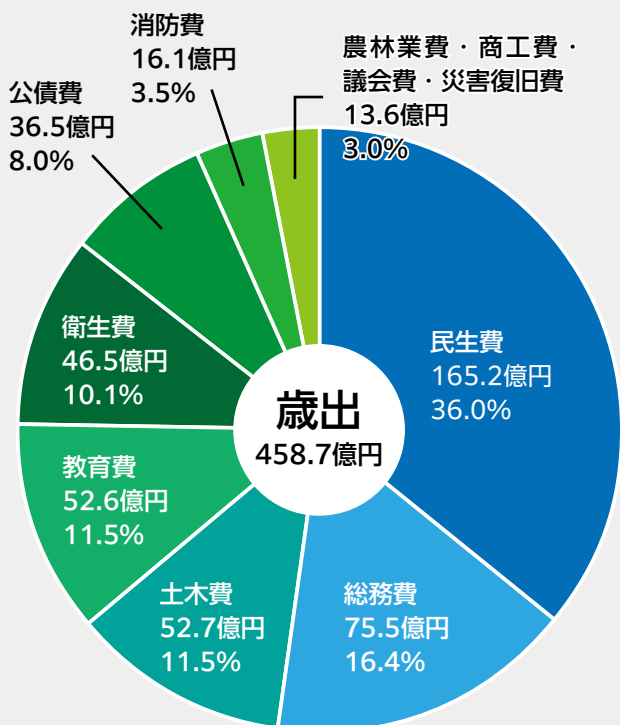


# 三田市の **お金** の使い道

令和6年度  
一般会計

**歳入総額** 469.8 億円 (前年度 424.4 億円 ⇒ 45.4 億円の増加)

**歳出総額** 458.7 億円 (前年度 415.6 億円 ⇒ 43.1 億円の増加)



- **民生費**：子ども・高齢者・障害者の福祉など
- **総務費**：文化振興、市民活動推進、防災対策など
- **土木費**：道路・公園整備、都市計画など
- **教育費**：学校教育、生涯学習、図書館の運営など
- **衛生費**：健康づくり、ごみの収集、生活排水対策など
- **公債費**：市債（借金）の返済
- **消防費**：消防・救急など
- **農林業費**：農業・林業の振興、農業基盤整備
- **商工費**：商工業・ツーリズムの振興
- **議会費**：議会の運営
- **災害復旧費**：自然災害による被害の復旧

## 令和6年度に実施した主な事業

**物** …物価高騰対策関連事業

### 民生費

**物** 物価高騰対応重点支援給付金  
(住民税非課税世帯などへの給付金)  
12 億 9,754 万円

### 商工費

**物** 小規模事業者物価高騰対策助成金  
(物価高騰の影響を受けている市内小規模事業者の経営継続のための助成金)  
1,494 万円

### 衛生費

新ごみ処理施設の整備事業  
2 億 3,811 万円



### 総務費

防災倉庫資機材等整備事業  
(カセットボンベ式発電機などの備蓄品補充など)  
1,188 万円

自動運転バス実証調査事業  
6,936 万円



### 教育費

**物** 学校給食費保護者負担軽減事業  
(給食費の値上げ相当分および燃料費などの保護者負担を軽減)  
1 億 1,542 万円

市立認定子ども園みつば幼稚園の開園  
(通園バスの運行など)  
1,396 万円

### 土木費

三田駅前Cブロック地区市街地再開発事業  
14 億 4,272 万円

城山体育館・駒ヶ谷体育館の改修  
(空調設備の設置など)  
6 億 7,147 万円



### 農林業費

**物** 農家等物価高騰対策支援金  
(物価高騰の影響を受けている市内農業者の経営安定を図るための支援金)

4,366 万円